

科目	「問11. 授業の難易度」、「問12. 一回当たりで扱われる授業内容の量」、及び「問13. この授業のための週当たりの学習時間」に対する学生による評価をみて、どのように考えられますか。また、改善案があればお書きください。
F	授業の難易度や内容量は適切であったと考える。授業のための家庭学習時間について、「他の授業と比べて多すぎる」との意見もあるが、英語力を伸ばすには必要であると考えます。
F	「授業の難易度、授業内容の量は、ちょうどよい」と感じている学生が半数を超えていました。ただ、「授業のための学習時間が1時間以内」が半数を超えていたのは、高校までの英語学習にかかる時間と比較して少なすぎると感じます。 テキスト以外の英語にも触れる時間を増やし、自信を持って英語学習を続けていってほしいと思います。
F	英語Ⅰのクラス編成の問題となるが、英語科と理科の学生が同クラスになっているクラスのため、学生によって、テキストや授業の内容の難易度が違った。今期は特に差を感じた。週当たりの学習時間も少ないことから、少し難しいと感じるテキストの方が学習意欲がわくかもしれないので次期のテキストを再検討したい。逆に、コミュニケーションⅡのクラスのプレゼンテーションを行うことがあまり学生の負担になりすぎないように工夫したこともあり、難しいと感じる学生が少なかったことは目標設定どおりで満足している。プレゼン発表のために十分な準備を行ってくる学生も多くいた。もう少し学習時間に反映してもらいたい。
F	常に受講生の視点に立つように努め、授業内容にメリハリを持たせるよういろいろと工夫している。 今後も効果的な授業を展開できるよう学生とのコミュニケーションを大切にしながら、様々なアイデアを取り入れたいと考えております。
F	授業の難易度、一回当たりの量においては、ちょうどいいと回答してくれた数字が一番多かったもので、良かったと思っています。ただ語学を習得するという観点から考えると、一回当たりの量は少ないと思います。予習前提の授業を行うことができれば、もっとたくさん扱うことができると思いますが、週当たりの学習時間(大多数が1時間以内と回答)から判断すると難しい状況です。これは1個人の教員の改善では難しく、大学全体で取り組む必要があると思います。
F	問11:「ちょうどいい」という学生が過半数以上であるので、今後も学生の状況を把握しながら授業を進めていきたい。 問12:「ちょうどいい」という学生が過半数以上であるので、今後も学生の状況を把握しながら授業を進めていきたい。 問13:「1～2時間」という学生が過半数以上であるので、英語を専門としない学科の学生が授業外でも英語学習の機会を持つ事は良い事であると考えられる。学生が授業外でも自主的に英語学習に取り組めるよう今後も課題を考えていきたい。
F	授業の難易度については、「ちょうどいい」と答えた学生と、「易しい」と答えた学生の割合が、ほぼ半々であった。そのため次回以降は、現在のレベルをベースに、チャレンジングな課題を増やすなどして、より多くの学生の学力に合った授業を心掛けていきたい。授業内容の量に関しては、ほぼ9割の学生が「ちょうどいい」と答えているため、今回の分量を引き続き維持していきたいと思う。学生たちの週当たりの学習時間は、語学の授業としては妥当な範囲かと思われる。予習やe-learning等の授業外学習を評価に加えることによって、学生の自宅学習時間の増加を図ってきたが、今後もこのような方針は続けていきたい。

F	1回当たりの授業内容の量はちょうど良いとなっている一方で、週当たりの授業以外での学習時間は1時間以内と答える学生が半数以上を占めた。この結果からさらに授業内容を多くし、難易度を高くすればいいか、というところではない。 というのは、授業時間以外にも学習するきっかけと提供しようと、1時間ほどで学習できる課題を毎週出したが、大多数の学生はその課題をやってこなかった。そのため課題をこなす時間を授業時間内に設けざるを得なくなったのである。内容が少ないか簡単であれば自宅で学習などしないであろうし、内容が多く難しければ早い段階で課題などしなくなり、さらに出席もなくなって簡単に学習を放棄してしまう。内容の量、質をどうするかは非常に難しい問題である。
F	アンケート結果を見ると、「授業の難易度」、「授業内容の量」とともに「ちょうどよい」と考えている割合が多く、問題はなかったと考えられる。また学習時間に関しては、第2外国語であることを考慮し、30分程度で行える宿題を課すようにした。従って、1時間以内と答えた学生の割合は多く、負担にならず学習できたのではないか。
F	「易しい」と「少ない」をチェックした学生がいませんので、ちょうど良いレベルだと思います。
F	学習時間の確保のために定期的にレポートを課し、提出させる方法を検討中である。
F	前半に比べてやや後半が難易度が高く感じられたかもしれない。授業内容の量に関してはちょうどよい、となっているので、中身の問題であろうか。内容に合うような課題を課したとしてもこれを消化しきれんかが今度は問題となってくる。なるべく易しい復習をその次の時間までにもっとさせる必要があるようだ。
F	問11. 学生の6割が「難しい」と回答しました。2割と2割は「ちょうどいい」と「難しすぎる」と回答しました。間違いなく、外国語の勉強をする事は簡単ではありません、少しでも動力は必要です。 残念ながら、問13. 学生の6割週当たりの学習時間は1時間以内と回答しました。授業内容の難しさを乗り越える方法を見つかりませんでした。 26年度では、このクラスの前期の担当教員と後期の担当教員は同じ教員でなかったため、後期の外国人担当者についての評価は厳しい。来年度は、全クラスでは、同じ教員はフランス語Ⅰとフランス語Ⅱを担当する。
F	語学の授業では30人以下の学生数が望ましいといえよう。人数が多いと授業を進めるときも大変ですし、学生の理解度の妨げにもなると思います。 同じ授業内容なのですが、1時限の少人数の生徒のほとんどの人が難易度が「ちょうどいい」と答えたのに対して、2時限の少し大人数のクラスの生徒は4割を超える人が「難しい」と答えていることから分かります。
F	難易度、内容量ともに難しい、多いという回答傾向が強いものの、週あたりの学習時間は1時間以内ないし1～2時間がほとんどと理想的であるため、問題ないと思う。
F	私が考えていた講義の内容が、学生たちにも負担にならないような回答が得られてよかった。学習時間も1時間前後で十分だと思う。
F	内容が易しい、ちょうどいいと答えた学生が大半だったので、もう少しレベルアップすれば、学習時間も延びたかもしれない。
F	一つの授業はレベルがちょうど良かったそうですが、他の授業はちょっと難しそうでした。今度クラスごとにレベルに合わせた方がいいと思います。
F	難易度と授業内容の量ともに「ちょうどいい」と回答した学生が多数を占めていることから、特に問題ないと思われる。
F	難易度については、一つのクラスでは、大多数の受講生のレベルを基準としているため、下位のレベルの受講者には難しいかもしれません。また、スキル習得を目標としている授業ため、授業外での学習が大切になりますが、半数ほどの受講者の週当たりの学習時間が1時間以内となっていますので、さらに学習時間をあげるように課題などを増やしなどの工夫をしていきたいと思っています。

F	全体的に学習時間が少ないので、課題を増やすなど、授業外の学習時間の重要性を促したい。
F	大半が「ちょうどいい」の回答を寄せているので、このレベルを維持したい。
F	ちょうどいい、という答えが8割なのでこのまま続行しようと思います。
F	授業の難易度については、「ちょうどいい」と答えた学生が大半を占めていたため、基本的には、今回のレベルを次回以降も維持してよいかと思われる。但し、「難しい」と回答した学生も数名いるので、必要に応じてヒントを与えたり、解説を丁寧にしたりするなど、理解を促す工夫をしていきたい。「授業内容の量」は、ほぼ全員の学生が「ちょうどいい」と回答しており、今後もこの分量で継続していく方針である。「週当たりの学習時間」は、「1時間以内」が7割を占めており、語学の授業に対する学習時間としては、もう少し増やしたいところである。今回は、予習の有無を評価に含めたが、その度合いについては学生の自由裁量に任せる部分が大きかったので、義務的にやらなければならない項目を増やすなど、改善策を検討していきたい。